●効能・効果等の追加(薬価基準収載品(一変承認)のみ抜粋)

参考: https://www.pmda.go.jp/review-services/drug-reviews/review-information/p-drugs/0035.html

★令和4年11月24日付

承認日	薬効分類	商品名	成分名	会社名	変更箇所 (<u>下線</u> 部分 追加、 取消線 部分 削除) *該当箇所のみ抜粋		
					4.効能·効果	6.用法·用量	
11/24	抗悪性腫瘍 剤 – 抗HER2 抗体トポイソ メラーゼ I 阻 害剤複合体	HER2 : Human Epidermal (クステカン(遺伝 子組換え)	ptor Type 2	〇化学療法歴のあるHER2陽性の手術不能又は再発乳癌 (標準的な治療が困難な場合に限る)注) 〇がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌 注)条件付き早期承認対象	〈化学療法歴のあるHER2陽性の手術不能又は再発乳癌 (標準的な治療が困難な場合に限る) (略)	
	剤	アドリアシン注用10 アドリアシン注用50	ドキソルビシン塩酸塩	製造販売/サンドファーマ	腫瘍剤との併用療法 乳癌(手術可能例における術前、あるいは術後化学療法) (略)	(ドキソルビシン塩酸塩通常療法) (略) 6.3 乳癌(手術可能例における術前、あるいは術後化学療法)に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合 子) 6.3.1シクロホスファミド水和物との併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、1日量、ドキソルビシン塩酸塩として60mg(力価)/㎡(体表面積)を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、1日1回静脈内投与後、13日間又は20日間休薬する。この方法を1クールとし、4クール繰り返す。なお、年齢、症状により適宜減量する。またドキソルビシン塩酸塩の総投与量は500mg(力価)/㎡(体表面積)以下とする。(略)	
11/24	1	注射用エンドキサン100mg 注射用エンドキサン500mg	シクロホスファミド水和物	製造販売元/塩野義製薬 提携/ドイツ バクスター 社	(変更なし) (略) ○以下の悪性腫瘍に対する他の抗悪性 腫瘍剤との併用療法 乳癌(手術可能例における術前、あるい は術後化学療法) (略)	(略) 〈乳癌(手術可能例における術前、あるいは術後化学療法)に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法〉 (1)ドキソルビシン塩酸塩との併用において、標準的なシクロホスファミドの投与量及び投与方法は、シクロホスファミド(無水物換算)として1日1回600mg/m(体表面積)を静脈内投与後、13日間又は20日間休薬する。これを1クールとし、4クール繰り返す。なお、年齢、症状により適宜減量する。 (略)	
11/24		ティーエスワン配合カプセルT20 ティーエスワン配合カプセルT25 ティーエスワン配合顆粒T20 ティーエスワン配合顆粒T25 ティーエスワン配合OD錠T20 ティーエスワン配合OD錠T25 エスワンタイホウ配合OD錠T20 エスワンタイホウ配合OD錠T20	テガフール ギメラシル オテラシルカリウム	製造販売元/大鵬薬品工業 製造販売元/岡山大鵬薬品販売提携/大鵬薬品工業	胃癌、結腸・直腸癌、頭頸部癌、非小細胞肺癌、手術不能又は再発乳癌、 膵癌、胆道癌、ホルモン受容体陽性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌に おける術後薬物療法	〈胃癌、結腸・直腸癌、頭頸部癌、非小細胞肺癌、手術不能又は再発乳癌、膵癌、胆道癌〉 (略) 〈ホルモン受容体陽性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌における術後薬物療法〉 内分泌療法剤との併用において、通常、成人には次の投与量を朝食後及び夕食後の1日2回、14日間連日経口投与し、その後7日間休薬する。これを1クールとして最長1年間、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜増減する。初回基準量を超える増量は行わないこと。 体表面積 初回基準量(デガフール相当量) 1.25m²未満 40mg/回 1.25m²以上~1.5m²未満 50mg/回 1.5m²以上 60mg/回	